

株式会社アイシン デマンド交通システム「チョイソコ」



▲「チョイソコ」シンボルマーク

1 企業概要

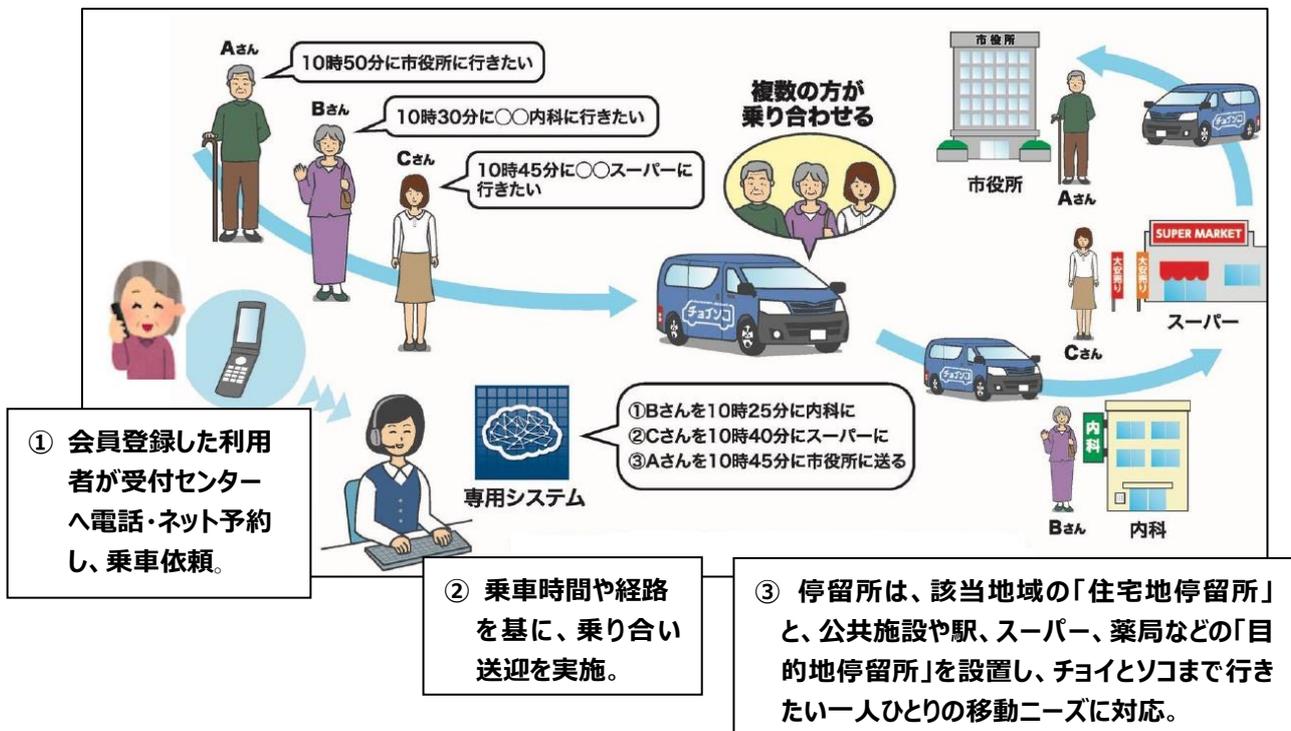
- (1) 社名 株式会社アイシン
- (2) 本社 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
- (3) 事業内容 自動車部品、エネルギー・住生活関連製品の製造・販売

2 チョイソコ（チョイとソコまで、ごいっしょに）の概要

商業集積場所の変動や既存公共交通の衰退などの社会環境の変化は、過疎地だけでなく、都市部でも課題となってきており、新しい交通の仕組みが求められている。

チョイソコは、このような地域の交通不便を解消し、地域特性や一人ひとりの移動ニーズに貢献するデマンド型交通（予約に応じて乗降場所や経路を変更可能な交通システム）のことである。また、単なる運行システムの提供に留まらず、多様な人が乗り合わせる移動により、外出を楽しみ、健康増進等につながるような世の中の実現を目的としている。

(利用イメージ)



### 3 チョイソコの特徴

#### (1) 一人ひとりの移動ニーズにマッチした運行システム

- ・会員登録した利用者から、ネットや電話で乗車依頼を受付し、最適な乗り合いと経路を計算し、目的地まで乗り合い送迎する仕組み。(※AIが最適な経路・乗り降り順を自動計算。利用者の目的地到着時間等は前後する場合もある)

→地域の構造に適した運行方式を提案し、運行効率と利用者の利便性が確保されたサービスの提供

#### (2) 地域密着型のコミュニケーション

- ・自治体と連携し、地域住民向け説明会を開催するなど、地域の交通システムとしての定着に向けた取り組みを継続して実施。
- ・高齢者に寄り添ったコールセンターでの配車サポート。
- ・会員向けの「チョイソコ通信」を郵送し、運行に関する更新情報に加え、外出したくなる様々なイベント情報等を発信。

→デマンド交通に対する住民の理解を育むために、地域との関係を築き、一体となって地域公共交通としてのデマンド交通を育てていくスキームを確立

#### (3) エリアスポンサー協賛型のビジネスモデル

- ・エリアスポンサーからの協賛を募り、広告の掲示を行うことなどで、運行費用の一部を支えてもらうと共に、エリアスポンサーとタイアップしたイベント等の開催により、利用者のみではなく、地域企業と共にデマンド交通を盛り上げていく仕組みを提供。

→デマンド交通の安定的な事業運営のために、経費面だけではなく、収入面についても具体的なノウハウを有し、収益構造の健全化を提案

- ・地域の交通事業者と連携した運行。

→交通事業者が担う、移動交通に対する社会的役割や地域貢献の必要性を共有

### 4 チョイソコ導入のメリット

- ・地域住民（チョイソコ会員）…移動選択肢の充実、移動サービスの充実、外出機会創出
- ・市内事業者（スポンサー）…集客増と新たなサービスの創出
- ・交通事業者…潜在ユーザーの発掘（公共交通利用者の獲得。相乗効果による利用者の増加）

## 5 愛知県豊明市での事例紹介

詳細については、パワーポイントで説明

## 6 他市町での導入実績（2023年9月現在）

- ・全国57市町村（愛知県内6市町）

### （愛知県内市町村の会員数）

市町村名	対象エリア人口	会員数（人口割合）	運行開始年月日
豊明市	約68,000人	2,307人（3%）	2019年4月
岡崎市	約5,400人	1,094人（20%）	2020年10月
幸田町	約10,500人	439人（4%）	2020年10月
豊田市	約22,000人	1,284人（6%）	2021年10月
扶桑町	約34,000人	2,872人（8%）	2022年10月
弥富市	約5,600人	545人（10%）	2023年6月

※県内では、刈谷市が2023年11月より導入予定。